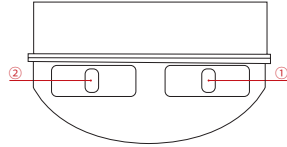


屋外用人感センサ

C型センサ

■C型(マルチタイプ)センサの形状と調整方法



①動作設定ツマミ

- ・点灯照度設定(切)
- 左…終日オンオフモードに設定
- 中…連続点灯モードに設定
- 右…テストモードに設定

- ・点灯照度設定(明)(暗)
- 左…夜間オンオフモードに設定
- 中…6時間調光タイマーモードに設定
- 右…調光モードに設定

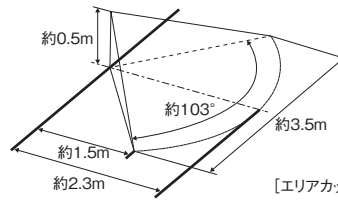
②点灯照度設定ツマミ

- 左(切)…明るくても作動します
- 中(明)…約45 lxで点灯
- 右(暗)…約15 lxで点灯

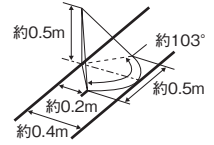
※点灯照度設定ツマミを切の位置にし、動作設定ツマミをテスト位置にすると、昼間でも簡単に感知エリアの設定ができます。

ポール灯

●エリアカットマスク無し



●エリアカットマスク使用時



[エリアカットマスク]

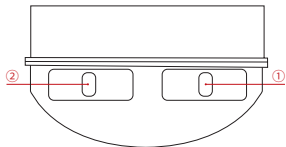
同梱されているエリアカットマスクを取付けることで感知エリアを調整できます。

※調節範囲以上無理に動かさないでください。

■C型(マルチタイプ)センサ感知エリアの設定

下図のように点灯照度設定ツマミを「切」に、動作設定ツマミを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行ってください。

テストモード



①点灯時間設定ツマミ

- 左…終日ON-OFFモードに設定
- 中…連続点灯モードに設定
- 右…テストに設定

②点灯照度設定ツマミ

- 左(切)…明るくても作動します。
- 中(明)…約45 lxで点灯
- 右(暗)…約15 lxで点灯

※動作設定ツマミをテストの位置にし、照度設定ツマミを切の位置にすると、昼間でも簡単に感知エリアの設定ができます。

- ①電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。結線および負荷の動作を確認できます。
 - ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。
- ※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

フェードイン
徐々に明るくなり、約100%で点灯

フェードアウト
徐々に暗くなり、消灯



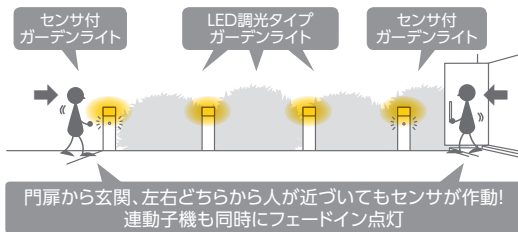
■C型(マルチタイプ)センサの多箇所検知・動作連動配線図

多箇所検知を行う場合は以下の例に従って配線を行ってください。最大接続台数は、各製品スペックP.490・491・576・582をご確認ください。

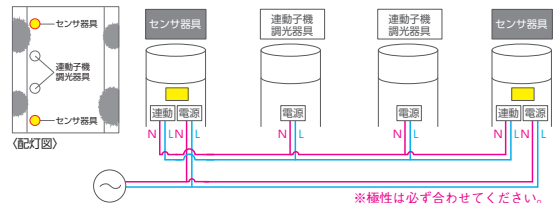
- ※電源端子及び運動端子の極性は必ず合わせてください。極性が合っていないと器具の破損及びブレーカーが落ちます。※運動端子に電源線を接続しないでください。
- ※器具の間隔は各2m以上離して設置してください。※センサモードの設定をする時は、全てのセンサ付ガーデンライトを同じモードに設定してください。個別の操作はできません。※他のセンサ器具やセンサスイッチとの併用はできません。

■アプローチの場合

どちらのセンサ付器具側から近づいても、片側のセンサが作動すれば、連動子機も同時にフェードイン点灯でフル点灯する、多箇所検知が可能。



(センサ器具2箇所検知+動作連動子機2台の配線例)



P.490・491のセンサ器具はE型、C型センサとの多箇所検知・動作連動が可能です。

■人感センサ連続点灯の操作方法と配線図

プルレス操作

主電源とセンサの操作をひとつのスイッチの連続操作(壁スイッチ操作)で行えます。完全消灯状態から、連続点灯状態やセンサ待機状態へも簡単な操作で移行できます。

センサ待機状態

壁スイッチをONにすると、点灯し、約60秒後に設定したセンサ待機状態になります。

連続点灯状態

壁スイッチをOFF→ONと、約2秒以内の連続操作で連続点灯となります。

連続点灯状態を解除する場合は壁スイッチを5秒以上OFF後、ONにしてください。点灯し、約60秒後に設定したセンサ待機状態になります。

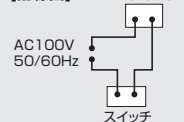
消灯状態

照明器具は消灯になります。

壁スイッチでセンサ点灯・連続点灯を切り替える場合

- スイッチは別途ご用意ください。
- ※一つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると、連続点灯状態に切り替わらない場合があります。

【配線図】



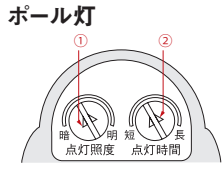
- ※連続点灯状態に切り替えた後、約8時間で自動的にセンサ待機に戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内にOFF→ON)を行った場合、再度その時点から約8時間の連続点灯になります。
- ※連続点灯を解除するには、5秒以上OFFにし、再度ONにしてください。※センサ付器具を使用される際は、壁スイッチを必ず取り付けてください。
- ※電源のON-OFF状態がわからないタイプの壁スイッチを使用している場合、スイッチを1回押しでも点灯しない時は、5秒以上待ってから再度スイッチを押してください。

C型センサ

C型(ON-OFFタイプ)センサの形状と調整方法



センサ部が左右の方向にそれぞれ40°ずつ可動します。



ブルレス操作

①点灯照度設定ツマミ

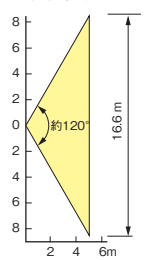
点灯照度(センサが感知する周囲の明るさ)を調整します。
 ●ツマミを左に回すと低い照度で点灯・感知します。
 ●ツマミを右に回すと高い照度で点灯・感知します。
 ※明るさに関係なく人を感知して点灯する場合は、ツマミを右方向いっぱいに戻してください。
 ※マルチ・ON-OFF共通…比較的周囲が明るくても点灯動作する場合は、点灯照度調節スイッチを「暗」に設定してください。また、点灯照度調節スイッチ「切」、「テスト」は動作確認時及びエリア調節時以外には使用しないでください。

②点灯時間設定ツマミ

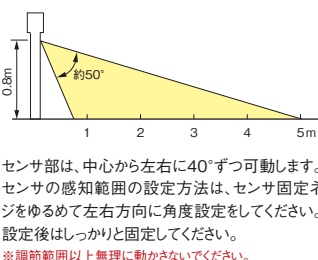
感知エリアから人が離れた後、消灯になるまでの時間を調整します。
 ●ツマミを左に回すと最短30秒、右に回すと最長180秒の範囲で調整できます。

ポール灯

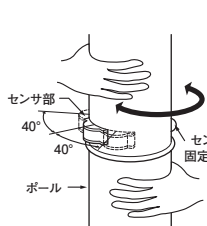
●水平方向



●垂直方向 [高さ0.8m]



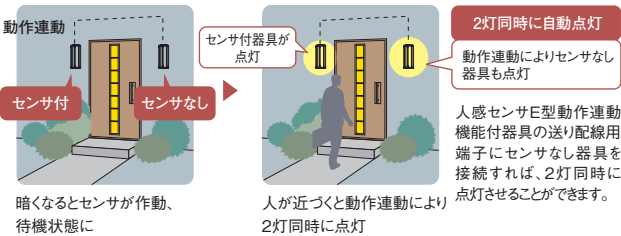
●センサ可動範囲



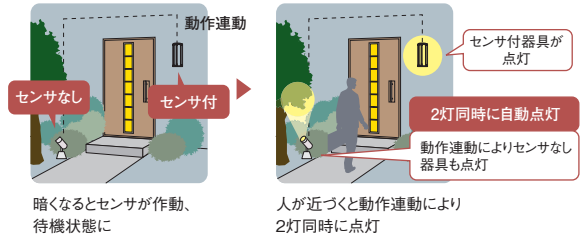
※高さ3m以下のところに取り付けてください。※感知エリアは周囲の環境、季節、人体等によって多少変化しますので、目安として考えください。※夏場など気温が体温に近づく時期は、感知しにくくなります。※器具に向かって真っ直ぐ接近した場合、より近づかないと感知しない場合があります。※感知範囲内に熱源があると誤動作する場合があります。(熱源:照明器具、エアコン、犬や猫などの動物、風で揺れる植木・旗など、車のライト、風、雨、雷等)

人感センサ動作連動機能 1つのセンサ器具で2つのあかりを点灯できます。(C型 動作連動 E型 動作連動 G型 動作連動)の表示のあるC型・E型・G型センサ器具)

●同デザインの器具のセンサ付とセンサなしの組合せ



●異なるデザインの器具のセンサ付とセンサなしの組合せ



動作連動をする場合 ※個別の操作はできません。

【配線図】

電源 AC100V → スイッチ → 電源用端子 → 動作連動器具

※負荷用の連続端子には絶対に電源線を接続しないでください。注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

取付時のご注意

- ※器具と器具の間は1m以上離して取り付けてください。
- ※連動側器具のランプ容量を守ってください。
- ※2台目(センサなし)の器具には別回路の電源をつなぐことはできません。
- ※マルチタイプのセンサ器具にON-OFFタイプの器具を連動させることはできません。

高気密 SB 人感センサ付

マルチタイプ 白熱球60W相当

AD 41933 L (電球色) 拡散 LED一体型

希望小売価格 **¥17,800** (税抜)

| | | | | |
|-----------|-----------|----------|-------------|---------------------|
| 消費電力 6.4W | 色温度 2700K | 演色性 Ra83 | 定格光束 380 lm | 固有エネルギー効率 59.3 lm/W |
|-----------|-----------|----------|-------------|---------------------|

- LED
- アルミダイカスト・ブライツシルバー塗装
- 重-0.6kg
- 光源寿命:40,000時間
- 照度センサ付
- センサーモード切替可能
- 点灯照度調節可能
- 動作連動 G型センサ動作連動器具とLED6.0W調光タイプのダウンを含み5台まで
- 5~25mmの材厚で取付けてください
- 動作連動でご使用いただく場合は調光タイプのみを組み合わせてください
- 調光器との併用はできません
- 照射近接限度10cm

取付穴 φ126 取付必要高 84

C型 動作連動
E型 動作連動
G型 動作連動

と表示しています